

スマートフォンのウイルス対策

Webサイトを閲覧したり、動画を視聴したり、アプリをインストールしたりと、スマートフォンにはさまざまな使い方があります。しかし、そのような多彩な機能を持つ反面、パソコンと同じようにしっかりとウイルス対策をしていないと、ウイルス感染してしまうこともあります。

スマートフォンがウイルス感染する原因と、感染した際の被害について

スマートフォンがウイルス感染してしまう大きな原因となっているのが、不正アプリのダウンロードです。不正アプリは、名前やアイコンを似せて人気ゲームに見せかけたり、「バッテリーを長持ちさせる」など、うその効果を装ったりしたもので、興味をひかれた人がダウンロードすると、そのスマートフォンをウイルス感染させます。

他には、メールに添付されたファイルの開封や、危険なWebサイトの閲覧などが、スマートフォンがウイルス感染する原因となっています。

スマートフォンがウイルス感染すると、以下のような被害にあう可能性があります。

- ・電話帳のデータや位置情報などの個人情報が抜きとられる
- ・メールのやりとりを盗み見られる
- ・通話中の音声を盗聴される



ウイルス感染を未然に防ぐために

スマートフォンのウイルス感染を未然に防ぐためには、セキュリティソフトの利用と、利用者自身での対策が必要です。※セキュリティソフトには有料のものと無料のものがあります。くわしくは、各携帯会社のホームページや公式アプリストアでご確認ください。

セキュリティソフトの利用

セキュリティソフトには以下のような機能があり、ウイルス感染の危険性を減らすことができます。

- ・不正アプリのダウンロードを防ぐ
- ・受信したメール、及びメールに添付されたファイルにウイルスがひそんでいないかチェックする
- ・危険なWebサイトへのアクセスを制限する

利用者自身での対策

利用者自身では以下のような対策をおこなうことが大切です。

- ・アプリのダウンロードは公式ストアからだけにする
- ・アプリの内容から考えると不必要な情報へのアクセス許可を求められたときは、ダウンロードを中止する
- ・知らないアドレスからきたメール、及び添付されたファイルは絶対に開かない



ゲームアプリなのに、なんで連絡先がいるんだろう？



このアプリケーションに許可する権限：

個人情報
連絡先データを読み取り

インストール

キャンセル

セキュリティソフトを利用したうえで、自身でもウイルス対策を意識しながらスマートフォンを使うよう、子どもたちに指導していくことが大切です。